

20m04H発表記録

準備

29:31

“General” で会議中

👤

💬

🖱️

⋮

🔊

🎧

🖥️

🔴 退出

開

上

酒

田

多

坂

塚

箸

庄

参加者

名前を入力

🔗 招待を共有

この会議 C (10 人)

北

開

坂

酒

庄

上

多

塚

田

箸

教育技術をめぐる論争

32:40

“General” で会議中

自動保存 10:10 docx - この PC に保存済み

ファイル タッチ ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

MS 用紙 (本) A A フォント 10.1 文字拡大 文字縮小 フォントの色

挿入 表 図表 図表の挿入 図表の削除 図表の移動 図表の複製 図表の削除 図表の移動 図表の複製 図表の削除 図表の移動 図表の複製

共有 コメント

教育方法論 第3回 テーマ「教育技術をめぐる論争」 1 版

(1) 「新しい時代の教育方法」から

全体の要旨 ● 中山隆一が「教育技術の批判的検討」というものを展開し、「ワンウェイ」型の超難関を克服点を指摘しつつ、かつて「近代化」によって「終極主義」批判のもとに批判されたものであった教育技術の過剰な共有化を指摘した。この批判は難関を克服するための教育技術を批判し、また文芸教育研究協議会との「教育技術と関係づくり」の関係をめぐる論争を契機とした。

ポイント 1) 大学における教育研究の発展や、民間教育研究機関における教育研究の過剰な共有化とその結果として教育技術の共有化が促進されていくことが、教育技術の共有化を促進することによって「ワンウェイ型」という。

2) 教育技術とは「教育」・「指導」・「説明」などである。

3) 教育技術は「教育」・「指導」・「説明」・「評価」の4つのレベル・次元に分類されるようになった。

4) 教育技術は「教育」・「指導」・「説明」・「評価」の4つのレベル・次元に分類されるようになった。

(2) 「教育技術の批判的検討」から

全体の要旨 ● 難関を克服を技術と見ようとする行為は、必要に応じて「自分の教育技術」をもち、「子どもが見える」ことである。教育は価値を重んじていく。そのときに数々の難関が生まれ、目をみはるような難関が子どもにも生まれてくるという考えであった。

ポイント 1) 教育技術は「教育」・「指導」・「説明」・「評価」である。

2) 教育技術とは「教育」・「指導」・「説明」・「評価」の4つのレベル・次元に分類されるようになった。

3) 教育技術は「教育」・「指導」・「説明」・「評価」の4つのレベル・次元に分類されるようになった。

4) 教育技術は「教育」・「指導」・「説明」・「評価」の4つのレベル・次元に分類されるようになった。

1/2 ページ 1177 文字 日本語 挿入モード

ここに入力して検索

17:22 2020/10/15

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議で (10 人) 全員をミュート

北 北

開 開

坂 坂

酒 酒

庄 庄

上 上

多 多

塚 塚

田 田

著 著

+2

庄

酒

塚

著

上

開

坂

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (教育技術をめぐる論争)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ (教育技術の法則化運動は)

- ・ 教育技術の追試、共有化を
- ・ めざした。

この教育技術の法則化運動によって様々な問題が提起されたことになった。

■肯定的 web (教育問題の解決を考える)

まとめ (教育は創造を重ねていけば)

- ・ 質の高い授業が生まれる
- ・ 「技術性」を重視すると「芸術性」
- ・ のもつ不透明さが批判され、「芸術性」を重視すると「技術性」のもつ
- ・ 効率性が批判する。

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■それぞれの教育論についての長所や短所がうまくまとめることができていた。

■否定的 web (教育技術の法則化の事例)

まとめ (法則化運動には教育技術の)

- ・ 根拠性が明確でないなど
- ・ の問題がある。

この問題の基本的要因は共有財産として集められた教育技術に対して論理的枠組みを持って考察していないこと。

■班としての要約

まとめ (教育理念や教育内容は授業)

- ・ 実践が可能なかどうかを考え
- ・ なければならない。

「教育技術の法則化運動」であるが、この法則化運動にも問題、批判があり、これについても議論しを売ける必要がある。

キーワード 10~20 語

明日中に

概念系統図

- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| ・ 教育技術 | ・ 技術性 | ・ 芸術性 | ・ 法則化運動 |
| ・ 共有財産 | ・ 追試 | ・ ワンウェイ | ・ 教務研究 |
| ・ 発問づくり | ・ 授業論 | ・ 論争 | |
| ・ | ・ | ・ | |
| ・ | ・ | ・ | |

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 論争において見る視点によって長所や短所が見えてくるため多くの角度から物事を見ることが重要であると感じた。

教育目標に関する基本的な考え方

01:11:09 "General" で会議中

20mReportF 第四回課題教育目標に関する基本的な考え方.docx - Word

ファイル ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 送迎文書 校閲 表示 ヘルプ 実行したい作業を入力してください

教育方法論 m 第4回□□テーマ「□教育目標に関する基本的な考え方」2 班□□

(1)→「新しい時代の教育方法」から□
全体の要点●教育方法の4つの構成要素、教育目標を設定、起源、特質、性格で見ていく□

ポイント□教育方法の4つの構成要素□
教育目標、教材・教具、授業過程・学習形態、教育評価□

(1)設定 → 内容…教科ごとに領域を区分□
能力…手続的知識・概念的理解の深化、調査課題の設計、歴史的展開□

(2)起源 → 決定に関する3者□
→ → ①背景となる学問の系統性□
→ → ②子供の発達的前進性と構造□
→ → ③現代における社会の要請□
→ → ①②→発達の事実に基づく学校の内容の構成□
②+③⇒発達の前提(レディナス)に発達課題□

(3)特質 → 到達目標…構造的に強化を考える。明確な評価基準のもとに各個人の達成度が評価□
→ → 方向目標…領域一般的に広く形成され、その方向性が評価の対象□
→ → 体験目標…授業プロセスにおいて体験として実現□

(4)性格 → 教材・教具の選択や構成□
学習活動(教材・教具)の関連(上)に示す□
教科書 □ teams.microsoft.com が開かれています。 □

1/2 ページ 827 文字 英語 (米国) 読

ここに入力して検索

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議 (10 人) 全員をミュート

北 北 開
開 開
坂 坂
酒 酒
庄 庄
上 上
多 多
塚 塚
田 田
善 善

+2 箸 開 庄 坂 上 酒 田

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (教育目標に関する多面的な考え方)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・ 教育方法の4つの構成要素
- ・ 教材, 教員, 授業過程, 学習形態
- ・ 教育目標, 教育評価
- ↓
- ・ 設定 → 内容 能力
- ・ 起源 → 決定の仕方
- ・ 特質 → 目標
- ・ 性格 → 選択 構成, 評価

■肯定的 web (ホラアム)

まとめ ()

- ・ 「行動目標の主要な利点は
- ・ 明確性をより一層促進させる
- ・ ということである」

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■否定的 web (スコットの批判)

まとめ ()

- ・ 行動目標モデルの重視
- ・ 認識的領域の排除

■班としての要約

まとめ ()

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 教育方法	・ 授業過程	・ 性格	・
・ 教育評価	・ 学習形態	・	・
・ 教材, 教員	・ 設定	・	・
・ 教育目標	・ 起源	・	・
・	・ 特質	・	・

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- まとめる能力は身に付けることができたと思うが、まとめたものを見て説明するのが難しいと感じた

■ 5段階班の自己評価 ()

3

教育目標・内容の諸相

01:13:17

“General”で会議中

自動保存 20mReport.docx - 最終更新日時: 木 1:22

ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

M.S. 明朝 (本文) 10.5pt A^x A^a A^y Z I A

B I U L X₂ X₁ A^x A^a A^y Z I A

フォント 段落 スタイル 編集 音声 秘密度 エディター

共有 コメント

教育方法論 m 第4回 → テーマ「教育目標・内容の諸相」←

(1)→「新しい時代の教育方法」から←

全体の要点●教育目標には記憶や推理、想像といった一般能力を高めることをめざす形式陶冶説と、継承する文化等から知識や技能を蓄積することをめざす実質陶冶説があり主張が対立していたが、一般能力と数学等の学習との結びつきが証明できず形式陶冶説は支持されなかった。↓

←

- 1)学習内容の転移は形式陶冶ではなく、学習の仕方がもたらす。←
- 2)子供が仮説を立てて、実験や観察を通じて検証する発見学習が提唱される。←
- 3)学習科学では概念的理解が目的とされているが、他者との協調や学びの姿勢等の形成もめざしている。←

(2)→「17 中学校学習指導要領解説」「18 高等学校学習指導要領解説」等から←

全体の要点●現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成し、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表

1/1 ページ 775 文字 日本語 (アクセシビリティ: 問題ありません)

フォーカス 目録 検索 160%

参加者 (10人)

全員をミュート

北 開

開

坂 坂

酒 酒

庄 庄

上 上

多 多

塚 塚

田 田

箸 箸

各班ワークシート複数資料用(まとめ)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (教育目標・内容の絡め)

■テキスト (新しい時代の教育方法)

まとめ ()

- ・ 一般能力を高めることを目指す形式陶冶説と
- ・ 知識や技能と蓄積することを旨とする実質陶冶説があるが、一般能力と数学等の学習との結びつきが証明できず、形式陶冶説は支持されなくなった

■肯定的 web ()

まとめ ()

- ・ 教育の目標を意識することで自分が何のために教えているのかという根拠を持つため、知っておくことが大切

■否定的 web ()

まとめ ()

- ・ 形式陶冶説は ~~あ~~ 支持されていないのでは
- ・ ないだろうか！

■班としての要約

まとめ ()

- ・ 教育目標・内容は時代によって変わるため、決められているからと思考を止めず、考え続けることが大切

キーワード	10~20 語	明日中に	概念系統図
・ 学習	・ 一般能力	・ 知識	・ 反付け
・ 形式陶冶	・ 実質陶冶	・ 学習指導要領	・ 教育目標
・ 教育内容	・ 今	・ 昔	・
・	・	・	・

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

- 自身が発表したか、質問等がしかりしており、話を聞いてくれていることがよく分かった

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

- 日本の教育内容・目標を調べると、学習指導要領のことばかりで調べるのが大変だった

ICT活用例

01:31:11

"General" で会議中

自動保存 docx - Word

ファイル ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

5 1 4 1 3 1 2 1 1 1 1 1 2 1 3 1 4 1 5 1 6 1 7 1 8 1 9 1 10 1 11 1 12 1 13 1 14 1 15 1 16 1 17 1 18 1 19 1 20 1 21 1 22 1 23 1 24 1 25 1 26 1 27 1 28 1 29 1 30 1 31 1 32 1 33 1 34 1 35 1 36 1 37 1 38 1 39 1 40 1 41 1 42 1 43 1 44 1 45 1 46 1 47 1 48 1 49 1 50 1 51

共有 コメント

・実物投影機の使い方を教える(電源、拡大、縮小の仕方)
・どんな折り紙を人に教えるのか班で話し合う
○展開
・実際に折る
・教える人が立つ位置はテレビの横にし、見る人が画面を見やすくする
・お客さんを前に、折り紙を折る
○まとめ
・終わったらよかったこと、直した方がいいことを話し合う
イメージ図など

と、正方形が長方形に映らないことを教える
○折り紙が画面の中央にくるように、配置を動かすようにさせる
○速く折ると、見えにくいので、ポイントで止まるようにさせる

北 北
開 開
坂 坂
酒 酒
庄 庄
上 上
多 多
塚 塚
田 田
箸 箸

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議 (10 人) 全員をミュート

1/2 ページ 443 文字 日本語

フォーカス 150%

+2 坂 酒 上 田 箸 多 塚

各班ワークシート (模擬授業まとめ)

改善したこと、すべきことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT 活用例)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

小学校 2 年生の
学級活動において、
小まつりを成功させる
(「おり紙の森」)

■目標・内容・指導の概略等

(目標) ・実物投影機を使って、折り紙の折り方と人にわかりやすく教えられるようになる

(内容) ・実物投影機の使い方を知る

・どんな折り紙を教えるかを班で話し合う

・実際に折る

・(小まつりにて)お客さんを前に、折り紙を折る
→速く折ると見えにくいのでポイントで止まり、ゆっくり折るようにさせる

・終了後、班でフィードバックを行う

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ ICT 機器を用いることで、
故障や生徒の危険がある
場合の対処は考えておくべきだ

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

■工夫した点、出典等

■模擬授業を実践してみて感じたこと、わかったこと

2**) 今日の授業で、気づいたこと、感じたことをのべよ。

■ 小学生低学年から、少しでも
ICT 機器を用いて授業を
することで、ICT 機器がより
身近なものと感じてくれるのでは
ないかと思いました。

各班ワークシート (模擬授業指導案準備)

班で討議したことを書くこと (指導案の要約ではない)

1) (班内) まとめ

班のテーマ (ICT活用例)

■学年・単元・本時の内容 (提示する教材)

- ・すべての学年、単元について
- ・啓林館の教科書、問題集が使える Libry というソフト

■目標、内容・指導の概略等

- ・確認も簡単にすること

(内容)

Libry を使い、生徒の課題を配信し、それを受けとったら
ノートに課題を解き写真を
教師におくる
データは蓄積されるため確認しやすい

2) 全体発表 (模擬授業) を聞いて、自分の班の取り組みについて感じたことをのべよ。

■ 生徒も体験できるのが良いと思いました。ICT と生徒がふれ合うことが大事だと思いました。

2*) 今日の授業で、ポイントと思ったことをのべよ。

■ 環境が整った状態だからできたこと。

■教材・板書計画、評価の観点・規準等

Libry は 1 度ダウンロードするとどこでも使うことができるため課題にも使える。
また、Libry を使うことでノートに書くこともできる。

■工夫した点、出典等

"ICT を活用した授業実践報告"
福山 浩司

4*) 今日の授業のキーワードのうち、班別討議、全体発表での自分自身の発言に用いたものを 3 つ取り上げ、説明せよ。

- ・ノートに書くことも大切
- ・環境を整えること
- ・ICT に頼りすぎないこと

ICT を導入することによってやる事は増えると思うが、それに頼りすぎず
ノートに書くことなども取り入れるべきではないか。

ICT活用例

01:39:04

"General" で会議中

制御を要求

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議 (10 人)

全員をミュート

北 北 開 開 坂 坂 酒 酒 庄 庄 上 上 多 多 塚 塚 田 田 箸 箸

1/1 ページ 514 文字 日本語

フォーカス 100%

自動保存

MS 明朝 (本文) 10.5

ホーム 挿入 デザイン レイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示 ヘルプ

検索

共有 コメント

あア重 あア重 あア重

標準 行間詰め 見出し 1

検索 置換 選択

ディクテーション 秘密 編集 エディター

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50

教師も確認が楽なのは

4. ICT 活用例

学習内容	指導過程・学習活動	指導上の留意点
ICT 活用の場面	・クラス全員に自分用のタブレットが配られている ・Wi-Fi 環境も整っている	○電卓機能などがタブレットに入っていると授業中にも使えてしまう
・Libry は一度データをダウンロードしておくところでも利用することができる。	○Libry という啓林館の教科書・問題集・参考書をタブレットに集約できるソフトを使い、授業を行う。 ・課題もタブレットで配信。 - 教師：教科書・問題集の問題を生徒に配信 - 生徒：配信された問題をノートに書く - ノートに書いた解答を写真に撮り教師に送信する。教師側はその解答を確認し理解度を把握する。 - 一度解いたものは蓄積されるので、何処を間違えたのかを簡単に確認できる	○教科書や問題集を啓林館のものにかえなければいけない ○持ち運びをすることで壊してしまうと誰が弁償するのか

備考

確認問題03

01:52:55

“General” で会議中

制御を要求

👤

💬

🖱

⋮

🔊

🎤

📶

🚪 退出

🔍

🗑

♡

🔄

🔗

🔧 編集と作成

🔗 共有

📄

⋮

教育方法論 m

第 3 回

確認問題 03

(1) 問題解決学習論争において問われたポイント
はなにか。2つ挙げよ。

知識観と系統性

問題解決の質

(2) 次の空欄を埋めよ。

(岡亮蔵) の学力モデルは、態度を
中心として、(関伴明彦) と技術、
(豊田隆一) と技能の (三層) 説
(岡亮蔵) の学力モデルは、
(関伴明彦) を重視した (双面的) 学力モデルである。

(4) 「学力における基礎についての4つの解釈」「第
二次世界大戦後の新教育においてコア連が提起し
たこと」「いわゆる現代化の動向の主な主張」のう
ちの1つについて簡潔に述べよ。

学力における4つの解釈：
① 基礎的学力論争で対立した「基礎」に
関する解釈であり、学力について、
② 主体的で定性的な側面
③ 主体的で機能的な側面
の2つから「学力における基礎」を規定
している。これは、対立・統合的に

参加者

名前を入力

招待を共有

この会議 (10 人)

全員をミュート

北 北

開 開

坂 坂

酒 酒

庄 庄

上 上

多 多

塚 塚

田 田

箸 箸

+2

塚

坂

上

庄

酒

箸

開

